

## 千葉市空襲の概要

5月8日昼頃の空襲は、米軍艦載機による蘇我町の日立航空機工場と近隣の住宅・住民への銃撃で、機銃掃射で死者・負傷者が出ていますが、全容は明らかではありません。

6月10日早朝8時頃の空襲では、第1目標の日立航空機工場への爆撃は蘇我町1丁目の住宅地に落ちて、住民242人が犠牲になりました。さらにB29編隊は、市街地を飛行し、寒川3丁目・2丁目・1丁目・港町・新宿町・新田町・新町・富士見町等を連続的に爆撃し、千葉県立高等女学校、千葉復活教会、千葉病院、千葉女子師範学校、省線千葉機関庫等が被害を受けました。罹災面積は0.26km<sup>2</sup>、死傷者391名、罹災戸数は415戸。

7月6日深夜から7日の夜間焼夷弾攻撃（七夕空襲）の目標は千葉市街地で、さらに艦載機の機銃掃射が加わりました。吾妻町・本町・東本町・通町・院内町・要町・栄町・祐光町・道場北町・道場南町・亀井町・千葉寺町・長洲町・弁天町・富士見町・新町・新田町・新宿町・神明町等、千葉市中心部のほとんどが焼失し、さらに、鉄道第一聯隊（椿森）・気球聯隊・歩兵学校（作草部町）、千葉陸軍高射砲学校（小仲台）等の軍事施設が被害を受けました。罹災面積は2.05km<sup>2</sup>、死傷者1204名、罹災戸数は8489戸。

（参考資料：千葉市作成「考えよう平和の大切さ」・千葉市空襲を記録する会編「千葉市空襲の記録」）

千葉市空襲犠牲者刻銘式祈念碑建立実行委員会のしおりより